

令和 年 月 日

府中市長 高野 律雄 様

府中市環境審議会
会 長 澤 佳成

第2次府中市環境基本計画及び府中市地球温暖化対策地域
推進計画中間見直し後の進捗状況について（答申）案

令和5年7月20日付、5府生環第267号で諮問のあったことについて、当審議会の意見は、次のとおりです。

1 第2次府中市環境基本計画（環境行動指針）の進捗状況について

平成26年度を初年度とする第2次府中市環境基本計画につきましては、平成26年度から令和3年度の進捗状況の報告を受けて、本審議会は概ね順調に進捗しているとの判断をしてまいりました。

今般、計画の最終年度となります令和4年度の進捗状況におきましても、審議の結果、概ね順調に進捗していると評価します。

新型コロナウイルス感染症により、事業の縮小やイベントの中止など、様々な施策に大きな影響を与えていましたが、令和4年度からは、オンライン開催などの工夫を行い、一部を除き各種事業が再開されています。

一方で、環境に関わる市民活動の促進や環境学習の推進等を担う府中市環境保全活動センターは、当初予定した当該センターの機能と現状の運営の間には乖離が生じています。このことから、事業の整理や情報発信の在り方の見直し、多様な世代の参加促進等を要望します。

2 府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後の進捗状況について

府中市地球温暖化対策地域推進計画につきましては、平成29年1月

に中間見直しを行っております。

中間見直しにおいては、6つの重点プロジェクトに基づき、その各プロジェクトの中から「モニタリングメニュー」として指標を選定し、毎年の市民アンケートなどで進行管理を行うこととしております。

令和4年度におきましては、高い目標設定に対し、項目の大部分について達成率が低調となっております。

一方で、脱炭素社会の実現にあたっては、市民や事業者の行動変容が欠かせません。このことから、脱炭素型社会の実現に向けて、本市に所在する大規模事業者や大学と締結した「2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けた協働に関する地域協定」を活用し、地域全体で省エネ化や再生可能エネルギーの普及に取り組んでいくことが必要だと考えます。

また、市の業務や公共施設などにおいては、省エネルギー化と再生可能エネルギーの導入を進め、率先して温室効果ガス排出削減を図っていくことを要望します。